

自由にものが言えなければ明るい未来はない

長野県御代田町の共産党員町長からメッセージ



「つどい」にお集まりのみなさん、
こんにちは。様々な妨害に屈せず同和の不正をただすたたかいに奮闘されているみなさんに、はるか遠く長野から連帯のごあいさつを申し上げます。



18日の町長選挙で、私は現職に千百

票の大差をつけて当選することができました。当選会場で一人の女性が、「正義は必ず勝つんだね」と言いました。この言葉の中に、勝利の重さを実感しました。当選の翌日に「解同」幹部は「これまでの我々の要求は、すべて撤回する」と言ってきました。日本共産党員の町長では、どんなに圧力をかけても要求がとられない、という事実上の敗北宣言です。

御代田町は、東日本で一番の同和で歪んだ町です。昨年10月には同和対策課長の自殺という悲しい出来事まで起きてしまいました。

私は日本共産党の町会議員として4期12年、一貫して同和事業の問題点を指摘し、あらゆる妨害や脅しに屈せずに頑張ってきました。それは住民のために献身するという、日本共産党の立党の精神にもとづくものです。

私の当選が、全国各地でたたかっているみなさんを励ましていることを知り、とても感動しています。少しでもお役に立てばと、メッセージを送りました。

「解同」と行政の癒着で不正がまかりとおり、自由にものが言えない町では、明るい未来は絶対にひらけません。お集まりのみなさんが全国各地のたたかいに連帯して必ず勝利されることを心から期待しています。

長野県御代田町（みよたまち） 茂木祐司（もてぎ・ゆうじ）

いま注目、タブーのない赤旗を

- 日刊紙 月 2900円
- 日曜版 月 800円
- 滋賀民報 月 350円

連絡先：町議会議員 西澤伸明：Tel・Fax 38 - 4949

法占拠の町有地調査



置された町有地を見て回るつどい参加者—24日、甲良町

滋賀県甲良町で二十四日、県内で同和行政の終結を目指す住民団体や日本共産党議員など二十六

滋賀・甲良町 同和行政を考える集い

人が参加し、「同和行政を考えると交流のつどい」が開かれました。同町の住民でつくる「公平・公正なまちをつくる会」（松元たけし代表）が呼びかけ、「同和行政の終結を求める県連絡会」が後援したものです。

参加者は交流会の前に、町内の町有地の不法占拠の現地を見て回り、同和事業に名を借りて町が取得した土地に、勝手に個人の住宅や小屋が建てられ、建設資材や庭石などの置き場にされている問題の土地で、参加者からは「なんどい」の声が上がり

人が参加し、「同和行政を考えると交流のつどい」が開かれました。同町の住民でつくる「公平・公正なまちをつくる会」（松元たけし代表）が呼びかけ、「同和行政の終結を求める県連絡会」が後援したものです。

参加者は交流会の前に、町内の町有地の不法占拠の現地を見て回り、同和事業に名を借りて町が取得した土地に、勝手に個人の住宅や小屋が建てられ、建設資材や庭石などの置き場にされている問題の土地で、参加者からは「なんどい」の声が上がり

所、約一万六千平方メートルあり、現在、山本日出男前町長が五千三百万円の損害を町に与えたとして、大津地裁で返還訴訟が係争中です。

交流会ではこのほか、近江八幡市で市民運動の結果、市が「解同」（部落解放同盟）市協議会事務所を市の施設から撤去を求めるとの是正が進んでいることが報告されました。また、湖南市や甲賀市では、市民に隠れて「市人権施策自立支援委員会」がつくられ、特定の委員が、同和地区住民の認定し、固定資産税減免などの特別施策を認め